

あ い さ つ

本校では昭和63年より「発達と障害に応じた指導」というテーマでプロジェクト方式による研究を5年間進めてきました。そしてその成果と課題をうけつぎ平成5年度から「豊かな心と生活をめざして」のテーマのもと 学部単位での研究を進めてきています。今年はその4年目であります。このテーマは子供たちの現在と将来の充実した生活を考えていく時に ノーマライゼーションの思潮 Q. O. L (生活の質) の重視 障害者本人の意志の尊重 (自己選択 自己決定) などが教育福祉の面から求められる時代背景と共に 子供たちの教育的ニーズの検討の中から考えられたものです。そして この「豊かさ」を人や自然や社会との「かかわり合い」という面と一人一人が興味 関心のあることや得意なことに意欲的に取り組むいわば個性の伸長ともいえる「その子らしさ」の二つの面からアプローチしようとしてきました。折しも第15期中央教育審議会から 「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」の第一次答申が出されました。その中で これからの学校教育の在り方として「ゆとり」のある中で子供たちに「生きる力」をはぐくむことを基本にさまざまな提言がなされています。この「生きる力」は養護学校の研究テーマとして“生活力を高める”とか“確かな生活力”などと表現されるように まさに私たちがこれまでもねらいとし育てようとしているものということができ 意を強くしているところです。

今年度の研究はこの「生きる力」を先に述べたテーマと観点から取り組んだものということができ 小学部 中学部 高等部がそれぞれに児童生徒の実態に即して実践を重ねてきましたものを研究紀要としてまとめてみました。

皆様方の率直なご意見ご批判を賜ることができれば幸いに存じます。

平成9年2月

金沢大学教育学部附属養護学校

校長 宮口 尚 義